

---

# 魔術師が魔導師に

無目藻

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔術師が魔導師に

### 【Nコード】

N3509BA

### 【作者名】

無目藻

### 【あらすじ】

友人「いいじゃん。別に」

作者「いや、リリなのと銀英伝のクロスはひとつあってね・・・」

友人「ひとつまた増えたっていいだろ！それに、カイザーよりもこっちの方が書きやすいだろ」

作者「・・・まあ、な」

友人「はい、決まり」

そんなノリで出来たこのネタ小説。 原案（マジで案だけ）友人M。

執筆、無目藻です。

評判が良く、余裕があつたら連載。反響がなくても友人の気まぐれで連載。結局いつか連載されるとおもいますよ。

聖祥小学校。

その三年生の教室で一人の少年が弁当を広げようとしていた。いつもは友人と昼食をとるのだが、生憎インフルエンザで欠席だった。

成績は中より上、顔立ちは平凡。おさまりの悪い黒毛は彼の正確を表していると言えは表している。

とにかく、別段目立つわけでもなく、ただ毎日をのらりくらりと過ごしていた。

そこへ、彼女がやってくる。

「文里君……」

「……」

「ねえ……」

「……」

「楊 文里君ッ！」

「……やあ、高町。どうかしたのかい？」

楊文里。そう呼ばれた少年の気の抜けた返事に話し掛けた少女、高町なのはは思わず脱力する。

「もう！さっきから話しかけてたんだよ」

「それは謝るよ。で、どうしたんだい？」

楊 文里と高町なのはは家が近所のため、親ぐるみでの付き合いがあった。言わば、幼馴染みである。

昔からよくなのはは楊に相談事をしていた。

楊は一見頼りない感じの少年だが、どこか父親とはまた違う安心感がある少年でもあった。

相談事をすれば何でも解決する。そのような安心感だ。

そして、今回もまた、なのはは楊に相談事があるらしい。

「実はね……私」

「うん？」

「魔法を使えるようになったの！」

「・・・左様ですか・・・」

ヤン・ウエンリー  
楊 文里。

彼は転生者である。

地球教徒に暗殺され、暫く暗黒を旅した後、再び 楊 文里の名  
を持って地球の海鳴市に生まれ変わったのである。

なのはのカミングアウトの後、彼もまた、魔法と出会う。

「ヤン、君も魔法の素質があるよ」

「はあ・・・」

「僕たちと一緒にジュエルシードの収集手伝ってよ！（QB風）」

「ははあ・・・」

「お願いなの！ウエンリー君が一緒だと心強いの！」

「はははあ・・・」

『不敗の魔術師』は『不敗の魔導師』と成り得るのか！？

頑張れ！我らがヤン・ウエンリー！

「そりゃあそんなことだって言えるさ。頑張るのは君たちじゃない  
からね」

「ウエンリー君、誰にいつてるの？」  
「いや、気にしなくていいよ」

(後書き)

感想とか下さると嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3509ba/>

---

魔術師が魔導師に

2012年1月9日01時52分発行